

乳用牛の暑熱対策

平成20年7月15日、名古屋気象台より「高温に関する異常天候早期警戒情報」が発表されました。詳細は裏面にあります。

1 体温の上昇を抑えるために

○牛舎外からの熱の侵入を防止

- ・牛舎の屋根、壁への断熱材の利用、白色系塗料を塗る、屋根への散水
- ・遮光ネット等を利用して直射日光を遮断する

○牛体からの熱を発散させる

- ・大型扇風機、ダクト送風機、スポットエアコン等による送風
(体熱が蓄積される夕刻から夜間にかけての送風が有効である)
- ・細霧装置による散水
(送風機との併用が効果的である、ただ湿度が高くならないように注意)
- ・牛体の毛刈り
- ・夜間放牧を実施したり、飼育密度を薄くする

○熱発生量の少ない飼料を給与する

- ・消化の良い良質粗飼料を与える
(粗剛なものほど熱の発生量が多い)

2 食欲低下による栄養不足の防止

○エネルギー摂取量の確保

- ・高いエネルギーで嗜好性の良い飼料を与える
- ・夜間に飼料給与を行う
- ・分離給与の場合は粗飼料から給与する、また給与回数を増やすことによる必要摂取量を確保する

○牛体の健康に注意、食欲増進を計る

- ・飼料添加剤(ビタミン、ミネラル、バッファー等の利用)

3 乳房炎の防止

○畜舎及び牛体の清潔保持

- ・クモの巣を除去したり、畜舎の清掃に務める
- ・牛体の洗浄及び乾燥
- ・牛床の乾燥



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 Fax 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

異常など確認された場合には、至急ご連絡ください。